



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 大石産業株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 3943 URL <https://www.osk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 博章
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大谷 洋文 TEL 093-661-6511
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,948	3.9	262	33.5	314	6.9	202	△35.0
2025年3月期第1四半期	5,726	3.5	196	△36.2	293	△26.0	311	39.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 145百万円 (△62.7%) 2025年3月期第1四半期 390百万円 (18.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	25.86	—
2025年3月期第1四半期	40.18	—

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	26,652	18,634	69.7
2025年3月期	26,692	18,724	69.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 18,572百万円 2025年3月期 18,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期 分割後換算 (分割前換算)	—	32.00	—	35.00 (70.00)	— (102.00)
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期 予想/分割後換算 (予想/分割前換算)	—	26.00 (52.00)	—	26.00 (52.00)	52.00 (104.00)

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2025年3月期(分割後換算) 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 創業100周年記念配当 15円00銭
 株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の期末配当金は70円00銭、年間配当金は102円00銭となります。

2025年3月期(分割前換算) 期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 創業100周年記念配当 30円00銭

2025年3月期(分割前換算) 年間配当金の内訳 普通配当 72円00銭 創業100周年記念配当 30円00銭

株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の第2四半期末配当金は52円00銭、期末配当金は52円00銭、年間配当金は104円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,232	3.2	901	△0.4	1,134	0.3	792	△16.2	101.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	9,328,000株	2025年3月期	9,328,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,500,334株	2025年3月期	1,538,936株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	7,818,090株	2025年3月期1Q	7,744,729株

（注）1. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2026年3月期1Q 115,970株、2025年3月期 115,970株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期1Q 115,970株、2025年3月期1Q 160,380株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等について）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善に加え、設備投資にも持ち直しの動きが見られ、全体としては緩やかな回復基調が継続しました。一方で、米価格の高騰等物価上昇の継続や米国の通商政策動向の不透明感、中国経済の鈍化、更には中東における地政学リスクの高まりなど、先行き不安は依然として残されています。

こうした経営環境の中、当社グループは昨年11月に新たなグループビジョン「パーパス（存在意義）：未来を包む - Inclusion for Future -」、「ビジョン（あるべき姿）：循環型社会に最適解を提供する」、「バリュー（価値基準）：誠実、挑戦、協創」を策定し、顧客満足を徹底的に追求するとともに、全社的なイノベーション活動を推進し、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、海外重包装袋製品およびフィルム製品の販売数量減はあったものの、パルプモールド製品、国内重包装袋製品および段ボール製品の販売数量増に加え販売価格の見直し効果により、59億48百万円（前年同期比3.9%増）と増収となりました。これにより、営業利益は2億62百万円（前年同期比33.5%増）、経常利益は3億14百万円（前年同期比6.9%増）と増益となりました。また、前第1四半期連結累計期間では受取損害保険金として特別利益を計上していたため、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億2百万円（前年同期比35.0%減）と減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(緩衝機能材事業)

パルプモールド部門は、鶏卵用トレーでは鳥インフルエンザによって減少していた羽数が回復し需要増となったこと、工業用トレーでは持ち帰りドリンク用トレーや事務機器用トレーが堅調に推移したこと、青果物用トレーではりんご向け、トマト向けを中心に販売数量増であったことおよび販売価格の修正により増収となり、パルプモールド部門の売上高は17億53百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

段ボール部門は、工業分野向け、農業分野向けともに増販となったことにより、売上高は8億61百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

成型部門は、売上高は樹脂成型品と宙吊り式包装容器（ゆりかご）をあわせて2億77百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

その結果、当事業の売上高は28億91百万円（前年同期比7.8%増）となり、セグメント利益は3億15百万円（前年同期比52.2%増）となりました。増益の主な要因は、販売数量の増加と販売価格の修正等によるものであります。

(包装機能材事業)

フィルム部門は、食品容器用ポリスチレンフィルムの販売数量は前年並みとなりましたが、自動車向けキャストフィルムが販売数量減となり、売上高は11億35百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

重包装袋部門は、国内では、主に合成樹脂向け、製粉向けを中心に販売数量が伸長しました。また、販売価格の修正効果もあり増収となりました。海外では、食品向けは増販となりましたが、合成樹脂向け、化学薬品向け等が需要減となり減収となりました。これにより、重包装袋部門の売上高は国内・海外を合わせて、17億40百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

その結果、当事業の売上高は28億76百万円（前年同期比1.9%減）となり、セグメント利益は2億10百万円（前年同期比7.4%減）となりました。減益の主な要因は、海外重包装袋部門の減収によるものであります。

(その他)

売上高は1億80百万円（前年同期比62.4%増）となり、セグメント損失は0百万円（前年同期は6百万円のセグメント利益）となりました。

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、デザイン関連事業、不動産賃貸事業、マレーシア国における日本産農産物等の輸入販売事業等を含んでおります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて40百万円減少し、266億52百万円となりました。

流動資産については、現金及び預金、原材料及び貯蔵品の減少等により、前連結会計年度末に比べて5億8百万円減少しております。固定資産については、その他の有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて4億68百万円増加しております。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は80億17百万円となり、前連結会計年度末に比べて49百万円の増加となりました。流動負債については、その他の流動負債の増加等により、前連結会計年度末に比べて38百万円増加しております。固定負債については、退職給付に係る負債の増加等により、前連結会計年度末に比べて10百万円増加しております。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は186億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて89百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の見通しにつきましては、2025年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,441	6,880
受取手形、売掛金及び契約資産	3,740	3,717
電子記録債権	1,254	1,394
商品及び製品	1,210	1,261
仕掛品	185	182
原材料及び貯蔵品	1,412	1,274
その他	278	305
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	15,506	14,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,312	3,255
機械装置及び運搬具（純額）	3,070	2,939
その他（純額）	2,531	3,154
有形固定資産合計	8,914	9,349
無形固定資産	213	200
投資その他の資産		
投資有価証券	1,528	1,523
その他	529	581
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,057	2,103
固定資産合計	11,185	11,654
資産合計	26,692	26,652

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,729	1,658
電子記録債務	2,104	2,046
短期借入金	525	544
未払法人税等	179	148
賞与引当金	301	148
その他	1,470	1,802
流動負債合計	6,310	6,348
固定負債		
役員株式給付引当金	31	34
退職給付に係る負債	1,219	1,238
その他	407	396
固定負債合計	1,657	1,668
負債合計	7,968	8,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	466	466
資本剰余金	416	435
利益剰余金	17,973	17,899
自己株式	△998	△974
株主資本合計	17,858	17,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	574	570
為替換算調整勘定	99	47
退職給付に係る調整累計額	128	127
その他の包括利益累計額合計	802	745
非支配株主持分	64	62
純資産合計	18,724	18,634
負債純資産合計	26,692	26,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,726	5,948
売上原価	4,668	4,768
売上総利益	1,057	1,180
販売費及び一般管理費	861	917
営業利益	196	262
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	20
受取賃貸料	47	47
為替差益	31	—
その他	11	13
営業外収益合計	107	82
営業外費用		
支払利息	5	5
不動産賃貸費用	3	3
為替差損	—	15
その他	1	5
営業外費用合計	9	30
経常利益	293	314
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取損害保険金	165	—
特別利益合計	165	0
特別損失		
固定資産除却損	6	14
特別損失合計	6	14
税金等調整前四半期純利益	452	300
法人税、住民税及び事業税	178	149
法人税等調整額	△38	△51
法人税等合計	140	97
四半期純利益	312	202
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	311	202

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	312	202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△3
為替換算調整勘定	65	△52
退職給付に係る調整額	1	△0
その他の包括利益合計	78	△56
四半期包括利益	390	145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	386	147
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

受取損害保険金：

前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

2023年3月6日に当社の八戸工場において発生した火災にかかる受取損害保険金を特別利益として計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	219百万円	278百万円
のれんの償却額	3百万円	一百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	緩衝機能材 事業	包装機能材 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,682	2,932	5,615	111	5,726	—	5,726
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	1	6	39	45	△45	—
計	2,687	2,934	5,621	150	5,771	△45	5,726
セグメント利益	207	227	435	6	442	△245	196

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、デザイン関連事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△245百万円には、主にセグメント間取引消去△3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△248百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	緩衝機能材 事業	包装機能材 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,891	2,876	5,768	180	5,948	—	5,948
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	0	4	35	40	△40	—
計	2,896	2,876	5,772	216	5,989	△40	5,948
セグメント利益又は損失 (△)	315	210	526	△0	526	△264	262

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、デザイン関連事業、不動産賃貸事業、マレーシア国における日本産農産物等の輸入販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△264百万円には、主にセグメント間取引消去△2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△266百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。